年間授業計画　様式例

# 高等学校 令和7年度（３学年用） 教科　　国語　　科目

教　科：　国語　　科　目：　論理国語　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　A 組～　E　組

教科担当者：（Ａ組：高橋）　（Ｂ組：高橋）　（Ｃ組：高橋）　（Ｄ組：高橋）　（Ｅ組：高橋）

使用教科書：（ 数研出版「論理国語」　　）

教科　国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち

科目　論理国語　　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 現代の社会に必要な母国語としての日本語の知識や技能を身に付けるようにする。 | 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 | 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 話・聞 | 領域 書 | 領域 読 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | 「『である』ことと『する』こと」<br>丸山真男 | 各段落の要旨をまとめ、「民主主義」についての筆者の考えをとらえる。<br>文章内容を新聞の投稿文の内容と関連づけて考察する。 | | | ○ | 【知識及び技能】<br>現代の実社会に必要な母国語としての日本語に必要な知識や技能を身に付けている。<br>【思考力・判断力・表現力等】<br>論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 7 |
| | 「意志と選択」<br>國分功一郎 | 「意志」と「選択」についての筆者の問題提起と主張をとらえる。<br>意志と選択を混同している例を具体的に考える。 | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 定期考査 | | | ○ | | | ○ | ○ | | 1 |
| | 「人工知能はなぜ椅子に座れないのか」<br>松田雄馬 | 筆者の主張を踏まえて、「弱い人工知能」とは何か考察する。<br>「『生命』の発展にとって必要な技術」について説明する。 | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | 7 |
| | 「本歌取り」<br>永田和宏 | 本歌取りの表現手法の内容について理解を深め、本歌取りについての筆者の考えを読み取る。<br>先人の作品を現代の読者に喚起する表現の例を具体的に考えて文章にまとめ、発表する。 | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 定期考査 | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| 2学期 | 「顔の所有」<br>鷲田清一 | 論の展開をふまえ、逆説的な表現の内容を説明したり、筆者の主張の根拠をまとめたりする。<br>引用という表現技法の働きを引用以外の文章との関連性からとらえる。 | | ○ | | 【知識及び技能】<br>現代の実社会に必要な母国語としての日本語に必要な知識や技能を身に付けている。<br>【思考力・判断力・表現力等】<br>論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 7 |
| | 「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査・希望を語る」<br>玄田有史 | 統計資料から、日本の若者が持つ「自分自身のイメージ」について読み取る。<br>「希望」が形成される過程を文章から読み取り、将来への希望を持つために必要なことについて自分の考えを論述する。 | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 定期考査 | | | ○ | | | ○ | ○ | | 1 |
| | 「無常ということ」<br>小林秀雄 | 「美」や「無常」について筆者はどのようなことを言おうとしているのかを具体例を手がかりにとらえ、考察する。<br>筆者の考える「歴史」について、自分の考える「歴史」と比較しながら話し合う。 | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 「エコロジーのミューズを求めて」<br>今福龍太 | 筆者の主張の根拠を、文章の構成や展開を踏まえて読み取り、「エコロジー」について自分の考えを深める。<br>筆者が「真の生態学的叡知」と表現する内容を具体的に考え話し合う。 | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | 7 |
| | 定期考査 | | | ○ | | | ○ | ○ | | 1 |
| 3学期 | 共通テスト対策演習 | 共通テストの問題演習を通じて、大学がどのような力を持った学生を入学させたいのかを理解する。 | | | ○ | 【知識及び技能】<br>現代の実社会に必要な母国語としての日本語に必要な知識や技能を身に付けている。<br>【思考力・判断力・表現力等】<br>論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 7 |
| | 入試問題演習 | | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | 7 |
| | | | | | | | | | | 合計 70 |